

サマーコンサートプログラム

と き：平成9年8月9日（土曜日）

午後7時～8時30分

（開場 6時30分）

と ころ：鎌倉芸術館小ホール

指 揮：三原 明 人

司 会：永井 邦 子

演 奏：鎌倉交響楽団

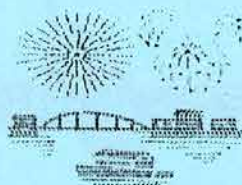


⊗⊗⊗ 演奏曲目 ⊗⊗⊗

1. 鎌倉市歌
2. 歌劇「どろぼうかかさぎ」より序曲 ロッシーニ作曲
3. 楽器紹介（木管楽器・金管楽器・打楽器・弦楽器の各セクションごとの演奏）
4. 幻想序曲「ロメオとジュリエット」 チャイコフスキー作曲

☺☺☺ 休 憩 ☺☺☺

5. 歌劇「真夏の夜の夢」より メンデルスゾーン作曲
 - ①序曲
 - ②スケルツォ
 - ③夜想曲
 - ④結婚行進曲





曲目解説



今回のプログラムは、夏にふさわしい曲を選んでみました。どうか、夏の暑い日差しを忘れて、楽しいひとときをお楽しみ下さい。

☆ 歌劇「どろぼうかかさぎ」より序曲

作曲者のロッシーニは、18世紀末にイタリアで生まれた作曲家です。今回演奏します「どろぼうかかさぎ」は1817年、ロッシーニが25才のときに作曲されたオペラ・ブッフア（喜歌劇）ですが、ロッシーニは、このようなオペラ・ブッフアの作曲家として、その本領を発揮しました。

この曲は、舞台左右に分かれた勇ましい小太鼓の連打で始まり、三拍子の華麗なメロディーが弦楽器で奏でられた後、木管楽器による優雅な旋律に受け継がれて、最後にオーケストラ全体で盛り上がりて幕を閉じます。

☆ 幻想序曲「ロメオとジュリエット」

皆様よく御存知の、シェイクスピアのお芝居「ロミオとジュリエット」を題材にして、若きチャイコフスキーが1869年、29才のときに作曲した幻想序曲です。

物語は、イタリアのヴェローナを舞台にして、モンターギユ家とキュピレット家との憎しみ合いの中で、恋に落ちた若きロミオとジュリエットが互いに手を取り合って命を絶ち、これをきっかけとして、両家が仲直りするまでを描いた悲劇です。

曲は重々しい序奏に続き、両家の争いを描いたかのような激しい音楽が始まります。その中から芽生えた二人の愛が浮き上がりますが、すぐに両家の憎しみが激しくこの恋を邪魔し、一気に悲劇へと突き進んでいきます。そして、最後に二人の清らかな悲恋を表すかのように、静かに曲は終わります。

☆ 歌劇「真夏の夜の夢」より

一曲目の序曲は、メンデルスゾーンが、シェイクスピアのお芝居「真夏の夜の夢」から着想を得て、17才で作曲した作品です。他の曲は、序曲から17年経った1843年に作曲されました。

物語は、妖精パックを狂言回しにして、一年中で最も夜の短い夏至の頃に行われる聖ヨハネ祭の前夜に起こった幻想的なお話を描いた喜劇です。

序曲では、妖精たちの飛び回る森の中の幻想的な様子が描かれます。スケルツォでは、妖精が怪やかに悪戯する様子を想像してください。夜想曲では、登場する二組の恋人たちが、妖精パックの魔法によって眠りに落ちる様が描かれ、結婚行進曲は、二組の恋人が結婚するときに用いられます。

鎌倉市歌

大木惇夫 作詞
矢代秋雄 作曲

Moderato

ゆい - かは - ま し - ず けき な み に ひ
 と の わ を い ざ な う み や こ や ま
 の さ ち う み の さ ち ゆ た - け - く ふ う こ う は み や
 ひ に も す か し - く せ か い の ひ と - の こ こ
 ろ を - ひ く - よ に じ は た つ に - じ は よ
 ぶ か ま く ら か ま く ら あ あ は え あ る み や こ

鎌倉市歌

一、由比ヶ浜しずけき波に
 人の和をいざなう都

山の幸海の幸ゆたけく
 風光はみやびにも清しく

世界の人の心を惹くよ
 虹はたつ 虹は呼ぶ

鎌倉 鎌倉 ああ栄えある都
 大仏の気高き在り所

慈悲と愛あふるる都
 山の幸海の幸ゆたけく

栄光をかかぶりて興りて
 久遠の智慧の泉を掬むよ

虹はたつ 虹は呼ぶ
 鎌倉 鎌倉 ああ歴史の都

さみどりの林と丘と
 砂の白むつめる都

山の幸海の幸ゆたけく
 住居して快よく明るく

風懐ゆかし 貝殻鳴るよ
 虹はたつ 虹は呼ぶ

鎌倉 鎌倉 ああ文化の都